

授業概要

地理学は地域の人文・社会・自然現象を総合的に把握し、その性格や特色を明らかにし、地域の成り立ちや空間的分布、地域構造を考察していくことを目的としている。人文地理学においては、人間の諸活動の地域的分布や相互関係、生活様式などを考察していくことを目的としている。

授業ではまず地理学の研究にとって必要である地図に関する講義を行う。そのあとは地図帳を使用し、国家のつながり、民族と人種、世界の首都、日本の都市、農業、資源とエネルギーなどに関する講義を行う。地域を見る、地域を知るということを念頭に置き、授業を進めていきたい。

授業計画

第1回	授業ガイダンス
第2回	地図とは何か
第3回	世界地図の歴史と発達
第4回	世界地図の中の日本
第5回	日本地図の発達
第6回	国家の条件と国連の役割
第7回	国家のつながり
第8回	世界の民族と人種
第9回	確認テスト、世界の首都
第10回	世界の首都と首都機能
第11回	日本の都市と都市制度
第12回	世界の人口と人口問題
第13回	世界の農業と食料問題
第14回	世界の資源とエネルギー
第15回	まとめ
第16回	期末試験

到達目標

「人文地理学」は中学校社会科および高等学校地理歴史科の教職免許の取得のための必修科目にもなっている。そのため、教職に就いた場合に必要とされる知識や教養を身に付けることも授業の目的の一つとする。また高等学校で「地理」を履修しなかった学生にも理解できるように、地理学の基礎的な事項に関しても触れる予定である。

履修上の注意

授業は講義を中心として行うが、作業も行う。当然ながら、授業中の私語や私事は禁止である。

予習復習

聞いたことの無い地名があった場合には、地図帳で確認すること。

評価方法

試験、出席状況、授業中に行う課題、履修態度により、総合的に評価する。

テキスト

二宮書店編「現代地図帳 2015-2016」。自然地理学・地誌学と同じものを使用する。その他にプリントを配布する。参考文献は授業中に示していく。